

令和6年度 組織・連携委員会だより

NO. 1

北海道PTA連合会

令和6年6月29日（土）に第1回委員会が開催されました。その内容をお知らせいたします。

組織・連携委員会では、令和6年度、次のような内容で研究を進めていきます。

1 研究テーマ

『共に学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方』

2 研究テーマ設定の理由

気候変動による自然災害や日常の平和が突如脅かされる世界の状況等、まさに予測困難な時代の到来を目の当たりにしている現在、わが国においては、少子・高齢化や人口減少などの社会構造の変化や人工知能（AI）の飛躍的な進化などによる急速な変化を迎えており、社会において必要とされる資質・能力が大きく変化している。

このような時代にあって、子どもたちには、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されているところである。

学校教育においては、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新しい価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。

このことは、これまで「生きる力」の育成を目指し、学校教育において推進してきたところであるが、子どもたちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、学校の創意工夫だけにその実現を委ねることが困難になってきている。

こうしたことから、PTAには、学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を踏まえ、将来子どもが実社会で生き抜くための力を身に付けさせるために、学校と家庭・地域を実質的につなぎ、「地域の子どもは地域で育てる」体制づくりの中心的な役割を担うことが期待されている。

そのため、学校教育との関連を図り、教職員と保護者が共に学び合い、連携・協力により各

種取組を推進していくとともに、その成果を学校・家庭・地域に還元していくことが重要である。そこで、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの教育を積極的に推進する役割を担う組織としての在り方を研究する必要があることから、上記のテーマを設定した。

3 研究の視点

研究テーマを追究するためには、委員会がこれまでの成果を踏まえ、各PTA活動の推進に役立つ有効な情報を主体的に発信することが重要であることから、次の2つの視点に基づき活動を進める。

- 持続可能なPTA活動・組織
- 学校と家庭・地域の連携・協働体制

4 研究の内容

(1) これまでの成果と具体的な課題

① これまでの成果

- コロナ禍における経験は、改めてPTA活動を見直すきっかけとなり、活動の目的を考えた組織の改編や、必要な活動を行っていかこうとする機運の高まりが見られた。
- 会同やオンラインによる会議の実施等、目的に応じた活動の工夫により、会議や活動の参加、活動の幅が広がった。
- 各地域の情報交流は、PTAが中心となり地域を巻き込んだ活動の事例が紹介されるなど、PTAが担う役割を考えていく上で参考になった。
- 札幌大会における西胆振地区送別中学校PTAの「地域文化交流会『後夜祭』」の取組提言は、大変有意義なものとなった。

② 具体的な課題

- 持続可能なPTA活動・組織については、好事例を踏まえて改革・創造を目指す必要がある。
- 学校と家庭・地域による一層の協働とPTAが担う役割について検討する必要がある
- 委員会で交流される貴重な情報を全地域での活動に還元する工夫が必要である。

(2) 今年度の研究の方向性

上記の課題の解決に向け、今年度は、次の3点を中心に研究協議を進める。

- ① 持続可能なPTA活動・組織について協議を継続する。
- ② 学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築を図る。
- ③ 各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信・共有を行う。
- ④ 令和8年度函館大会での提言について協議を継続し、サポートしていく。

5 研究推進日程

期 日	会 議	内 容
6月 7日(金)	正副委員長予定者 会	・今年度の活動計画(案)について検討ほか
6月29日(土)	第1回組織・連携 委員会	・研究テーマの決定、研究推進の方向性(骨子)) 確認 ・今年度の活動計画、具体的な活動内容につい ての協議 ・各地区のPTA活動の交流と今年度研究テ ーマについての協議① →各地区単P対象の取組アンケートの実施 (アンケート内容の検討)
10月12日(土)	第2回組織・連携 委員会	・各地区のPTA活動の交流と今年度研究テ ーマについての協議② →各地区単P対象の取組アンケートの集計 結果をもとに協議 ・今年度のまとめに向けての方向性の確認ほ か
12月 7日(土)	第3回組織・連携 委員会	・令和8年度の研究大会提言に向けた重点等 の協議(確定) ・各地区PTA研究大会の報告と意見交換 ・今年度の活動のまとめと反省 ・次年度の方向性について意見交換と引き継 ぎ事項の確認

6 令和6年度の委員会体制 【組織・連携委員会】 14名

次の方々が道P連組織・連携委員会の研究を推進しています。(敬称略)

- 委員長 ①廣瀬 堅一 (副会長：小樽市)
- 副委員長 ④南川 達彦 (副会長：胆振西部) ⑤清水 武志 (副会長：釧路管内)
- 寺嶋 裕介 (副会長：道中校長会～新篠津村)
- 教師代表 ○山際 昌枝 (小樽市 校長)
- 委員 ②菅原 達朗 (旭川市) ②古田 智晃 (宗谷管内)
- ③三谷百十樹 (渡島) ④秋田 芳敬 (南空知)
- ④広地 紀彰 (胆振東部) ④幕田 優祐 (日高地区)
- ⑤中村 裕介 (オホーツク東部地区)
- ⑤加賀 琴江 (オホーツク西部地区) ⑤新村 浩隆 (十勝管内)

*①②③④⑤は、北海道PTA連合会のブロックを表しています。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目STV時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp